

企画 人口定住化を促す 住宅施策について

Q 町の考え方について、次の7点について伺う。

1 人口定住化を促す住宅施策について、今までどのような施策を行ってきたのか

2 町が分譲した住宅用地の販売の実績について

3 町営住宅の供給については、総供給戸数24戸であるが、戸数を増やすなどの見直しの検討について

4 民間優良賃貸住宅借り上げによる勤労者住宅や高齢者住宅について、研究の状況は

5 子育て支援住宅の供給戸数増について

6 民家賃貸住宅入居者への家賃補助について

7 人口定住化と人口増について、特化した計画策定について

A 1点目について、人口定住化における施策については、町の魅力を作り出し、快適な環境の形成や定住環境を高めるとい

う計画的な市街地整備、未利用町有地や町道等の整備による周辺未利用地の宅地供給と持ち家の促進、情報格差の是正やテレビの地上デジタル放送開始を視野に入れた情報通信基盤の整備、町外への通勤者の利便性向上を目指した道路整備や道路渋滞緩和対策、子育て支援センターの開設や延長保育、休日保育、預かり保育など女性の働き口が多いという観光地の特性に合致した子育て施策、生活支援が必要

な高齢者に対する住宅福祉サービス、温泉を活用した健康づくりの促進や住民が納得で

きる環境の整備、観光産業の振興による雇用の促進などの施策を積極的に展開している。

人口増・定住化問題は、町の根幹に係わる重要な課題であるので、人口動態をしっかりと把握し、この7項目をさらに推進するとともに、地域や世代など住まう方々の視点に立った施策立案を心がけ、今後とも積極、果敢に取り組んでいきたいと思っております。

2点目について、まず、湯本後山分譲地については、平成13年度から一般分譲を行い、平成13年度には3区画、平成14年度には1区画、本年度は2区画が販売できたものである。次に、本年度造成工事を行い、分譲した宮城野上ノ山の分譲地については、これまでに3区画のうち2区画が販売できたものである。

現在、湯本後山が5区画、宮城野上ノ山が1区画残っているが、引き続きPRを行い、販売の促進を進め、人口の定住化を図ってまいります。

3点目について、町内の各地域に町営住宅を供給しており、平成10年度には第2上河原住宅25戸を建設し、現在、8町

営住宅30棟、総戸数24戸を管理している。

この公営住宅の管理戸数は、県内の町村では一番多く、今後において当面は、長期的かつ有効な活用を図り、現在の管理戸数を維持していきたいと考えている。

4点目について、観光事業所等をリタイヤした高齢者や、単身で従事する勤労者のためのバリアフリー設備の整った住宅、あるいは単身用の住宅

また、核家族化による若年層世代の子育てのための住宅など多様なニーズが求められているが、厳しい財政環境の中でそうした新しい住宅の建設は大変困難であるので、現在、定住のための住宅政策検討プロジェクトにおいて、民間優良賃貸住宅の借上げ等による住宅の供給を考えている。

5点目について、多様なニーズの一つとして、民間優良賃貸住宅の借上げ等による住宅供給の研究の中で考えていくこととしており、現時点で戸数増は考えていない。

6点目について、民間の賃貸住宅の家賃補助制度については、住宅の形態に違いや家

賃の差、雇用主からの住宅手当などの支給の把握、さらには持ち家所有者との関係もあり、公平公正な補助が難しいことから考えていない。

7点目について、箱根町における住宅施策については、総合計画にもあるとおり町営住宅の管理計画を中心とした、箱根町町営住宅ストック総合活用計画を策定していくこととしており、人口の定住化や人口増について特化した計画策定は考えていない。

いずれにしても、人口定住化、人口増の問題は、町の将来を担う大変重要なことであるので、今後とも人口動態の確かな把握に努め、積極的に取り組んでいきたいと思っております。



第2上河原町営住宅



宮城野上ノ山分譲地